

防火基準点検済証、防災基準点検済証、防火・防災基準点検済証に記入する文字等

(協会名) (一社) 奈良県防災安全協会

表示の種類 (購入申込書と同じものに○)	管理権原 ※1	管理権原者の名称 ※2	点検を行った日 ※3 次回点検予定日 ※4	点検を行った者の氏名 ※5 同上 免状交付番号 ※6
A B1 B2 N H I J1 J2 0 P1 P2	単一		防火対象物点検	
(A・I・0を選択の場合、次のいずれかに○)	複数 ()		点検： 年 月 日 氏 名： (西暦で記入ください)	
壁掛式・壁貼付式・スタンド式			次回： 年 月 日 免状番号： (西暦で記入ください)	
			防火管理点検	
		点検： 年 月 日 氏 名： (西暦で記入ください)		
		次回： 年 月 日 免状番号： (西暦で記入ください)		

(以下においてA・B・C・Dは右のとおり。A：防火対象物点検結果報告書 B：防災管理点検結果報告書 C：防火優良認定証 D：防災優良認定証)

<p><input type="checkbox"/> 記入要領 ◆防火基準点検済証又は防災基準点検済証</p> <p>※1 別途消防機関へ提出の防火管理者選任(解任)届出書又は防災管理者選任(解任)届出書の「管理権原」欄で確認の上、該当するものを○で囲む。なお、管理権原者が複数の場合、その数を「複数()」内に記入する。</p> <p>※2 管理権原者が法人の場合、法人名(管理権原者が複数の場合には①管理権原者等で構成する組織の代表法人名、又は②①の組織がない場合は代表する法人名)を記入する。なお、「表示対象物の名称」の記入を希望する場合には、()内にその名称を記入する。</p> <p>※3 (「防火対象物点検」又は「防災管理点検」の欄に)A又はBの「点検実施日」を西暦で記入する。(注1)</p> <p>※4 (「防火対象物点検」又は「防災管理点検」の欄に)A又はBの「点検を行った日」から1年後の同日を西暦で記入する。(注2)</p> <p>※5 管理権原者が複数の場合：※2に掲げる①又は②の代表法人の代表者に係る点検実施者の氏名を記入する。</p> <p>※6 " : " " 免状交付番号を記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 添付書類 (次の(1)又は(2)のいずれかを添付)</p> <p>(1) 購入申込者に係るA又はBの写し(注4、注5)</p> <p>(2) 購入申込者に係るC又はDの写し(注5)</p>	<p><input type="checkbox"/> 記入要領 ◆防火・防災基準点検済証</p> <p>※1：左に同じ。</p> <p>※2：左に同じ。</p> <p>※3：(「防火対象物点検」「防災管理点検」のそれぞれの欄に)左に同じ。(注3)</p> <p>※4：(「防火対象物点検」の欄に)A及びBにおける「点検を行った日」のうち、最も古い日から1年後の同日を西暦で記入する。なお、「防災管理点検」の欄は記入不要。</p> <p>※5：左に同じ。</p> <p>※6：左に同じ。</p> <p><input type="checkbox"/> 添付書類 (次の(1)又は(2)のいずれかを添付)</p> <p>(1) 購入申込者に係るA及びBの写し(注4、注6)</p> <p>(2) 購入申込者に係るC及びDの写し(注6)</p>
--	--

- 注1：管理権原者が複数の場合、全ての管理権原者に係るA又はBの「点検実施日」若しくはC又はDの「認定の効力が生じる日」のうち、最も新しい日を記入する。
- 注2：管理権原者が複数の場合、全ての管理権原者に係るA又はBの「点検を行った日」若しくはC又はDの「認定の効力が生じる日」のうち、最も古い日から1年後の同日を記入する。
- 注3：管理権原者が複数の場合、全ての管理権原者に係るA又はBの「点検を行った日」若しくはC又はDの「認定の効力が生じる日」のうち、最も新しい日を記入する。
- 注4：消防機関の受付印のあるものとし、点検票の添付は不要とする。
- 注5：他の管理権原者がA又はBを提出し、若しくはC又はDの交付を受けている場合に限る。
- 注6：他の管理権原者がA及びBを提出し、若しくはC及びDの交付を受けている場合に限る。